



平成21年度多摩商工会議所景況アンケート調査

調査期間 平成21年12月1日～平成22年1月7日

調査事業所 調査数 146社 有効回答数 102社

内訳:市内企業 102社(法人73事業所・個人29事業所)

製造業10社・建設業24社・不動産業6社・サービス業24社・卸売業3社

飲食業7社・小売業25社・運輸業3社 以上102社

調査方法 無作為抽出による事業所に対して、書面調査およびヒアリング

調査内容 ①前期と比較して今期の状況及び来期の予測について調査した。

②いまの重要な経営課題について調査した。

その他 前回調査(H20. 11)結果との比較をし、動向を見る。

調査結果

リーマンショック直後の平成20年11月に実施した景況調査と比較すると、若干持ち直しの傾向が見られるものの見通しは依然厳しく、景気低迷が続く見込みである。
平成21年11月の「ドバイショック」による急速な円高・株安や物価下落が続く「デフレ」懸念が、景況感の悪化につながっていると思われる。

